コンクリートに関する推奨用語の使用のお願い

日本コンクリート工学会(JCI)では、各種出版物における用字・用語の統一を図るため、2012年12月にJCI標準化委員会において、コンクリートに関する推奨用語が下表のとおり設けられました。

つきましては,「コンクリート工学」執筆者の皆様におかれましても,下表にあります用語を原稿内で使用される場合には,推奨用語に統一いただけますようお願いいたします。ただし,各種学協会の指針類等に係わる記述箇所については,その学協会で用いている用語を使用いただいて結構です。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

推奨用語一覧

	推奨用語一覧	
現在使用している用語	推奨用語	備考
(1) 常用漢字の指定変更等に係わる用語	T	
充填 , 充てん	充填	「填」は常用漢字の印刷文字
攪拌,かくはん (土木学会)かくはん⇒攪拌	撹拌	「撹」, 「拌」とも非常用漢字だが, 判読が容易。 「攪」と「撹」のうち容易な方とした。
間隙、間げき	間隙	「隙」は常用漢字
空隙、空げき	空隙	同上
遮蔽, 遮へい 遮蔽用 (JASS5)	遮蔽	「蔽」は常用漢字
剥離、はく離、剥落、はく落	剥離. 剥落	「剥」は常用漢字の印刷文字
堰板 せき板(土木学会),(日本建築学会)	せき板	「堰」は非常用漢字
沈殿, 沈澱	沈殿	「澱」は非常用漢字
溶接,熔接	溶接	「熔」は非常用漢字
緻密、ち密	緻密	「緻」は常用漢字
じん性(土木学会) 靭性(日本建築学会)	靭性	「靭」は非常用漢字だが、使用例になじみがある:強靭 「靭」と「靭」のうち容易な方とした。
がほ(日本産業子云) ぜい性(土木学会)		「脆」は非常用漢字だが、使用例になじみがある
発せい、発錆、防錆	加巴1土	
がせい、発頭、防頸 防せい(技術の要点)	発錆	「錆」は非常用漢字だが,使用例がある : JIS A 6205 防せい(錆)剤
(2)使用を避ける用語		
ジャンカ	豆板	
あばた	表面気泡	
(3)統一用字・用語		
打設 打込み(土木学会, JASS5)	打込み	
配合 (土木学会) (JIS A 5308) 調合 (JASS5)	配(調)合 *	JCI では、土木、建築両分野の共通用語として確立。
かぶり (土木学会) かぶり厚さ (日本建築学会)	かぶり(厚さ) **	JCI では、土木、建築両分野の共通用語として確立。
不動態,不働態	不動態	
(不動態)皮膜(診断技術) (不動態)被膜(技術の要点)	不動態皮膜	
スランプロス スランプの低下 スランプダウン	スランプの低下	
漏斗、ロート	漏斗	外来語でないためカタカナ表示は不適当
梁 (診断技術) (JASS5) (建築計算規準) はり(土木学会)	梁	「梁」は非常用漢字だが,使用例になじみがある:橋梁
脱枠,脱型	脱型	
アルカリシリカ反応 アルカリ骨材反応	アルカリシリカ反応	全般を示す場合は「アルカリ骨材反応」 意味により区別
すり減り(診断技術)	すり減り	JIS A 5308 すりへり 「すりへり減量」で用いる場合が
すりへり (技術の要点)	すり減り量	多いが、語が重複。
化学的侵食(技術の要点) (土木学会) 化学的腐食(診断技術)	化学的侵食	
最大粗骨材寸法, (粗)骨材最大寸法	粗骨材の最大寸法	

^{※「}コンクリート工学」においては、土木・建築どちらかのみの原稿内容の場合は、その分野ごとに「配合」、「調合」および「かぶり」、「かぶり厚さ」のまま用いても良いものとする。